

評価のまとめ 2019/3 フレンズ

1、「はい」が多かった点

- 100% 1 「子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか」
2 「職員の配置数や専門性は適切であるか」
4 「子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで支援計画が作成されているか」
5 「活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか」
7 「支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がされたか」
8 「日頃から子ども状況を保護者に伝えあい、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか」
17 「子どもは通所を楽しみにしているか」
18 「事業所の支援に満足しているか」
86% 9 「保護者に対して面談や助言等の支援が行われているか」
10 「子どもや保護者からの苦情について体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか」
12 「子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか」
14 「個人情報に十分注意しているか」

- 【評価】 1、2017年11月のアンケート結果と比べると評価が高くなった項目が増えた
2、施設や職員について理解が進んでいる
3、支援計画が適切に作成され、活動内容が工夫されている
4、保護者に情報伝達がなされている
5、個人情報に注意している

2、「はい」が少なかった点

- 29% 6 「障害のない子どもと活動する機会があるか」
57% 15 「緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか」

- 【評価】 1、障害がない子どもたちと接する機会が少ない
2、「非常時の備え」に対する情報発信が不足している

【改善する点】

- 1、障害がない子どもたちと接する機会が少ないに対しては、地域の子どもたちと交流する機会を作っていきたい。
- 2、「非常時の備え」に対しては、「避難訓練」を定期的に年1回行っていく。非常時時対応マニュアルを掲示したり、常時見れるようにファイルを置いておくなどの対応をしているが、周知が不足している。。